



気 監 第 3 1 4 号

令和 5年 2月 17日

気仙沼市長 菅 原 茂 様

気仙沼市監査委員 生 駒 利 夫

気仙沼市監査委員 村 上 佳 市

定期監査の結果について（通知）

地方自治法第199条第4項の規定により令和3年度分に係る定期監査を行ったので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり報告します。

市民生活部

令和4年度 定期監査結果報告  
( 市民生活部 )

次の監査を気仙沼市監査基準(令和2年監査委員告示第3号)に従って実施した。

1 監査の種類

定期監査

2 監査の対象

市民生活部 生活環境課，循環型社会推進課，市民課及び保険年金課に係る  
令和3年度分の財務に関する事務の執行及びその他の事務の執行

3 監査の着眼点

- (1) 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。
- (2) 事業の管理又は事務の執行が合理的かつ効率的に行われているか。
- (3) 事務の執行は法令に基づいて適正に行われているか。

4 監査の主な実施内容

令和3年度に執行された事務事業について，関係書類を調査するとともに，  
担当職員から説明を聴取するなどの方法により実施した。

5 監査の実施場所及び実施日

実施部署	実施場所	実施日
生活環境課	監査委員室	令和4年10月31日
循環型社会推進課	循環型社会推進課	令和4年10月21日
市民課	監査委員室	令和4年10月12日
保険年金課	監査委員室	令和4年10月31日

## 6 監査の結果

令和3年度の財務に関する事務の執行及びその他の事務の執行は、おおむね適正に執行しているものと認められた。

なお、以下、是正や改善等が必要と思われるものを指導注意事項、検討していただきたいものを意見としてまとめたので、留意のうえ事務を執行されたい。

### (指導注意事項)

循環型社会推進課が発注した委託業務の中で落札率がかなり低いものがあった。例年、同程度の落札率とのことであるので、予定価格の設定にあたっての積算の見直しが必要ではないかと考える。

### (意見)

時間外勤務については、年間360時間の目標上限時間数や定時退庁日の設定などにより、市職員全体としては縮減傾向にあるものの、特定の職員への集中や目標上限時間数を超えていたケースが見られた。

時間外勤務の縮減は、経費の削減の点ではもちろんのこと、職員の心身の健康保持の観点からも重点的に取り組むべき事項であるので、引き続き、業務の平準化や効率化などによる縮減に努められたい。

また、夏季休暇について、職員は3日間取得できるものであるが、貴部内において少数ではあるが、全て取得しなかった職員がいた。夏季休暇は職員の心身のリフレッシュと健康の維持増進を図るものであり、職員が必ず取得できるよう配慮して業務を進めてもらいたい。

循環型社会推進課が支出した団体の活動に対する謝礼金について、将来の活動に対するものも含まれていた。本来、謝礼は相手方の役務の提供等があつて行うものであり、将来の役務等を対象とすることは適切ではないと考える。

しかし、支出に至った経緯について理解できる部分もあり、謝礼金ではなく別な方法がなかったのか検証されたい。